事例No.	966
公表年度	H29
団体の属性	複数団体
団体名	秋田県、秋田市

事例区分	行政改革

タグ	・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	県市一体での指定管理者制度の導入

事例内容・タイトル

県市一体での指定管理者制度の導入

出典

地方公共団体における行政改革の取組（平成30年3月28日公表）

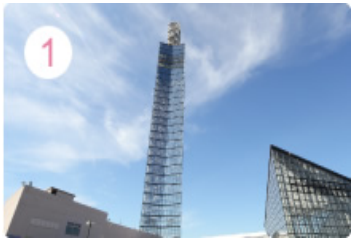
★県市一体での指定管理者制度の導入

○　隣接する施設の一方が市の管轄、他方が県の管轄となっていた。
⇒　県市が一括して指定管理者を公募し、選定された指定管理者がエリアを一体的に管理をすることで、管理の質の向上及び利用者の利便性の向上を図る。

〈県市一体での指定管理者制度の導入　：　秋田県・秋田市〉

（人口　約112万人（秋田県）、約32万人（秋田市））

【取組】
・道の駅「あきた港」エリアには、県の施設である「セリオン・リスタ」、「イベント広場」、「駐車場」及び「構内道路」、秋田市の施設である「ポートタワー」、「セリオン・プラザ」がある。
・平成27年度より、秋田市が選定した指定管理者に、県の施設の管理業務も行わせる一体的な管理開始。



↑ポートタワー（秋田市）



↑セリオン・リスタ（秋田県）



↑セリオン・プラザ（秋田市）



↑道の駅「あきた港」の施設配置状況

【効果】
・道の駅「あきた港」の一体的プロモーションに取り組むことが可能となり、知名度が上がった。
・年中無休営業や冬期間の開館時間の延長を全施設に拡大することにより、住民の利便性が拡大した。
・道の駅「あきた港」全体を活用した大型イベントの開催だけでなく、各館各所での同時多発的なイベントが回遊効果を生み、来場者数が増大。平成28年度の年間来場者数は146万人（昨対比143%）にものぼった。